

G R A P H F U K U O K A

グラフィック

ふくおか

春

2019 SPRING

No.594

[特集]

体感する福岡 文化集う「福^{ふく}扇^お華^か」

列車でふくおかさんぽ

120年の歴史を乗せて新たに走りだす
～第4回 平成筑豊鉄道～



グラフ 福岡

グラフ福岡 春号 SPRING 2019(通巻594号)
平成31年3月20日発行(季刊)
〒812-8577 福岡市博多区東公園7番7号
☎092-643-3102(直通) ファクス092-632-5331
県ホームページ <http://www.pref.fukuoka.lg.jp/>
※グラフ福岡のバックナンバーも掲載しています

2019
SPRING

春



03 特集

体感する福岡 文化集う「福扇華」

08 知事のふるさと訪問

春日市

10 トップアスリートの流儀「スポーツ立県福岡」を目指して

高嶋理紗選手 × 向江彩伽選手

東京オリンピックで、福岡とフェンシングを輝かせたい!

12 列車で福岡さんぽ

120年の歴史を乗せて新たに走りだす
～第4回 平成筑豊鉄道～

16 きらめきマイタウン

大牟田市

22 小特集①

「グリーンアジア国際戦略総合特区」に注目!

24 小特集②

子育て応援福岡!

26 平成30年度福岡県政の動き

28 県議会だより

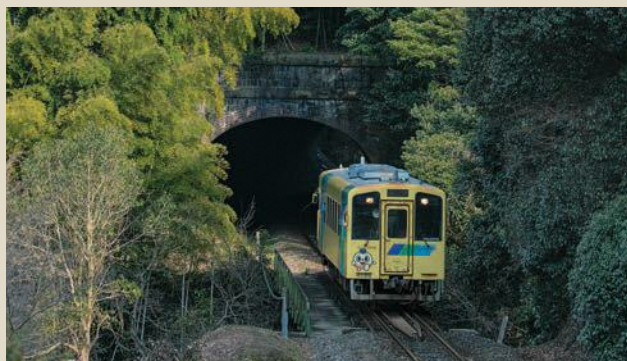
裏表紙 情報広場

表紙紹介

平成筑豊鉄道の風景

石炭輸送で栄えた時代を経て、平成からは地域の鉄道として走り続ける“へいちく”こと平成筑豊鉄道。住宅地近くの沿線は、昭和レトロの面影を残す雰囲気が魅力。少し離れ、日本の原風景とも呼べる里山の中を走る列車の姿は、鉄道ファンに人気です。観光列車も新しく運行を始めるなど、新たな旅の楽しみ方も注目を集めています。

◀関連記事12ページへ





体感する福岡文化集う「福岡華」



平成30年11月、福岡県のアンテナレストラン「福岡華」が東京の半蔵門にオープンしました。福岡県の食材をふんだんに使用した料理を提供するとともに、内装には県産木材や多くの伝統工芸品をあしらっています。食をはじめ物産や観光、歴史、文化など多くの方に福岡県に親しんでいただける魅力発信の新拠点「福岡華」をご紹介します。

「福扇華」から発信する
福岡県の魅力



旬の「特鮮 本鱈」を使ったせいろ蒸しコース

福岡県のアンテナレストラン「福扇華」が東京にオープンし、話題を呼んでいます。

アンテナレストラン「福扇華」から発信するのは、食をはじめとする本県の魅力。

「福扇華」という店名に使われている「扇」は、末広がりということで昔から縁起物とされてきました。「扇」の文字には、福岡県のますますの繁栄を願い、本県から新しい風を吹かせたいという思いが込められています。

東京で味わう
福岡の食

「福扇華」では、「博多和牛」や県産の天然真鯛など、本県自慢の

食材で料理を提供しています。中でも「博多和牛のしゃぶしゃぶ」は肉質の良さが際立つ料理として高い人気を誇っています。田中雄介料理長が開発したオリジナルメニュー「八女茶しゃぶしゃぶ」は、香り豊かな八女茶をぜいたくに使っただけで、「博多和牛」をヘルシーにいただけます。

ランチタイムは、「博多和牛すき焼き御膳」や「天然真鯛茶漬け御膳」「週替わり御膳」などのセットメニューがそろい、連日多くの方でにぎわっています。

春の新メニューは、糸島で水揚げされた「特鮮 本鱈」を使ったせいろ蒸し。旬の野菜をたっぷり使って、彩りも鮮やかです。コース料理はいずれも、本県の旬の食材をふんだんに使用し、東京に居ながら、福岡の旬を感じることが出来ます。



福岡の旬を楽しめる春のランチ



「今、福岡の食材の魅力を再発見しています。新しい料理のアイデアが次々と浮かびます」と料理長の田中雄介さん



城下町、柳川に伝わる「柳川まり」

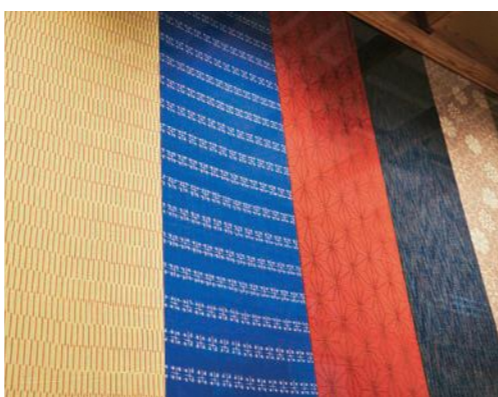
伝統工芸品で
福岡の文化を伝える

福岡県には、豊かな自然や風土、歴史の中で育まれ、今なお私たちの暮らしを豊かに彩り続ける数々の伝統工芸品があります。「福扇華」の店内にはこうした伝統工芸品により醸し出された上質な空間が広がっています。

人間国宝 福島善三
さんによる小石原焼
「中野月白楽陶文壺」



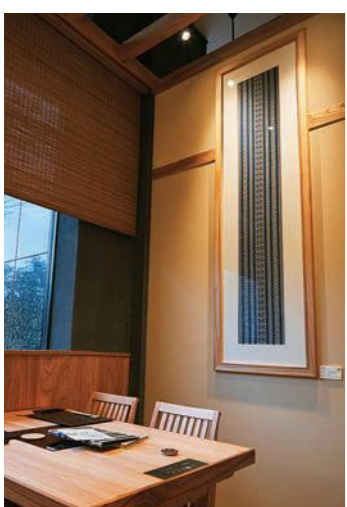
店内のショーケースは、工芸品が多数展示されている



久留米餅のタペストリーが鮮やかに「福扇華」を彩る

まず店内で目に入るのは「小石原焼」の重要無形文化財保持者(いわゆる「人間国宝」)福島善三さんの作品です。通路にあるガラス張りのショーケースには、博多人形や八女福島仏壇の蒔絵、芦屋釜の他、普段な

かなか見ることのできない工芸品が美術館さながらに展示されています。また、六つの個室と客席ホールには、内装に県産木材がふんだんに使われ、大川組子や八女すだれ、博多織・小倉織の額装などがあしらわれています。



個室に飾られた博多織献上柄の額装

料理を彩る器には小石原焼や上野焼も用いられています。店内の至るところに、本県をより感じていただくための工夫が施されており、料理を楽しむながら「福岡の匠の技」



「福扇華」で舌鼓を打つ小川知事

が体感でき、本県を旅したようなひとときを味わっていただけます。客席ホールはイベントスペースとしても活用。これまでに、食や物産、観光、文化など本県の魅力を発信するイベントを開催し、たくさんの方が来店しました。

店内の販売コーナーには、本県のさまざまな特産品が並んでいます。久留米餅のコースターや藍胎漆器の箸などの伝統工芸品の他、八女茶などの農産物、県産農林水産物を使った加工品なども豊富にそろえています。

「福扇華」から広がる福岡県の魅力は、今後ますます東京の地で広まっていくことでしょう。

福岡県は、筑後川をはじめ多くの一級河川が流れ、豊かな水に恵まれていることから古くから稲作が行なわれてきました。現在も酒造好適米「山田錦」の生産量は全国有数。また、県育成の酒米「夢」などが生産され、これを使った酒造りが盛んです。多彩な個性と味わいを持つ本県の日本酒は、近年、日本ファンに注目されています。



日本酒

魚へんに春と書いて「鱧」。俳句では春の季語になっている魚です。中でも「特鮮本鱧」は糸島漁協の漁師が捕獲し、2・5kg以上あるもの。これを、船上で素早く活き締め、血抜きし、海水水で6時間以上冷やすことで高い鮮度を保持します。「特鮮本鱧」は、尾に専用のタグが付けられ、全国へ出荷されています。



特鮮本鱧



福岡県の
おいしい日本酒
お薦めは
女将が
ご案内いたします

「福扇華」の女将 松本絵見子さん「焼酎も日本酒も福岡県の銘柄を多数ご用意しています。日本酒は、メニューにある15銘柄のほかにその日のお薦めもありますので、お気軽にお尋ねください」

「福扇華」で

県産食材を堪能する

海、山、川の豊かな自然と四季折々の気候に育まれた福岡県の食材。新鮮な魚介類、旬の野菜や果物、畜産品や米、酒、日本茶など、「食材の宝庫」と呼ぶにふさわしい多彩さを誇ります。

「福扇華」では、常に新鮮な県産の食材を使って、福岡の旬の味覚を発信しています。

天然真鯛

筑前海（玄界灘）は、平安時代から全国に知られた鯛の産地。福岡県は全国有数の天然真鯛の漁獲量を誇ります。この天然真鯛は吾智網漁や釣り漁獲され、肉厚で美しい白身は癖がなく、滑らかな舌触りと上品な甘みが特徴です。



あまおう

「あかい・まるい・おおきい・うまい」の頭文字をとった「あまおう」は福岡県が開発したイチゴです。その名の通り、大玉、濃い赤色で艶のある姿形、そして甘みと酸味のバランスの良さが特長です。海外にも輸出され高い評価を得ています。

「博多和牛」は、県内の博多和牛生産者として登録された農家が大切に育てた和牛です。飼料も福岡県産の稲わらにこだわっています。肉質は柔らかく、かむと肉汁があふれ、濃厚なうま味が口の中に広がります。「福扇華」ではしゃぶしゃぶやすき焼きで楽しむことができます。



博多和牛

「元気つくし」は福岡県が10年の歳月をかけて開発したお米です。粒はしっかりと、艶と程よい粘りがあり、冷めてもおいしいと評判です。

元気つくし



八女茶

八女茶は、1423年に明（現在の中国）から帰国した栄林周瑞禪師が筑後国鹿子尾村（現在の八女市黒木町笠原）に靈巖寺を建立し、明より持ち帰った茶の種をまき、茶の製法を伝えたのが始まりとされています。香り豊かで味は濃厚、まろやかでコクがあるのが特長で、お茶の品質を競う全国茶品評会で日本一の農林水産大臣賞を数多く受賞しています。



SHOP DATA

福扇華



〒102-0083 東京都千代田区麹町1-12-1 住友不動産ふくおか半蔵門ビル1階
アクセス/東京メトロ半蔵門線「半蔵門」駅 3a・4出口より徒歩3分
【昼の部】11時30分～15時(L.O 14時)
【夜の部】17時～22時(L.O 21時) ※土曜日は夜の部のみ
休日曜日、祝日
☎・ファクス 03-3288-2170

EVENT

「福扇華」では、体験イベントやセミナーなど、随時イベントを行っています。詳しくはホームページでご確認ください。 <http://www.fukuoka-bimi.net>



光町地区公民館
 春日子光町2-180-1



ダーツや芋掘り大会など、高齢者と子ども会との交流を盛んに行う光町自治会の活動拠点。毎週木曜日に開催する「ひかりカフェ」は、お茶を飲みながら参加者同士が楽しく過ごす交流の場

知事も「ひかりカフェ」に参加。地域住民の方々に教えていただきながら折り紙を使った傘づくりに挑戦

春日市立春日東中学校
 春日子若葉台東1-41-1

学校・保護者・地域の三者が共に子どもを育てる仕組みを意味する、コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)。平成21年からこの制度に取り組む春日東中学校を訪れ、その活動報告や、サクセスノートをはじめとする個性豊かな取り組みについて説明を受けた



中学に入学してからのギャップ解消を目的に実施している、大谷小学校6年生の中学校体験入学の様子。知事は、一糸乱れぬ集団行動を行っていた体育の授業を見学

奴国の丘歴史資料館
 春日子岡本3-57

青銅器やガラス製品の工房跡を再現したジオラマ。一帯は、当時の先進技術が集結した「弥生時代のテクノポリス(高度技術集積都市)」だったと考えられている



奴国跡と伝えられる国指定史跡「須玖岡本遺跡」の一角に立つ資料館。遺跡周辺から出土した甕棺墓をはじめ、銅鏃、銅鏡といった青銅器やガラス製品などの副葬品が並ぶ展示室を見学



小川知事が県民の皆さんと直接触れ合う「知事のふるさと訪問」。今回は、県内で最も面積が小さな市でありながら、魅力がいっぱい詰まった春日市へ。弥生時代の遺跡に立つ資料館などを訪れました。

ふるさと訪問

平成30年11月27日

かすが
春日市

春日市総合スポーツセンター
 春日子大谷6-28

災害時にはかまどになるベンチや井戸など、センター内にある防災設備や物資備蓄庫を視察



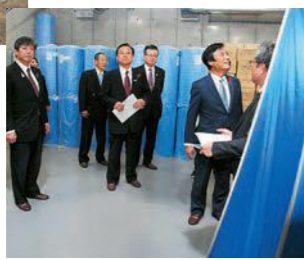
バレーボールチーム「福岡春日シーキャッツ」は、同センターを拠点として、日々練習に励んでいる



平成28年4月に完成した春日市総合スポーツセンターで、井上澄和市長と山本直俊教育長から春日市の概要と取り組みについて説明を受けた知事。その後、地域づくりなどについて意見交換を行った



防災拠点施設としての顔も持つ同センター。約900人の被災者を受け入れる避難所機能と支援物資の集配機能を備えている



光町児童センター
 春日子光町2-180-4



知事もパラバルーンを使った幼児向けの行事に参加。カラフルなバルーンの下ではしゃぐ子どもたちには知事は目を細めていた



春日市内に四つある児童センターのうちのひとつ。地域の子育て支援を目的に、乳幼児から中高生向けまで、年代に合わせたさまざまな行事を行っている。今回は幼児向けの子育てサロンを見学し、交流を楽しんだ

団体紹介

福岡春日シーキャッツ



「V.LEAGUE」への参入を目指し、平成30年4月に発足した6人制女子バレーボールチーム。県内の小・中・高校生、社会人チームのためのバレーボール教室を開催するなど、地域貢献活動にも取り組む。



「行政や企業、団体などが力を合わせ、地域の課題を解決していくことが重要ですね」と小川知事

春日市消防団の柴田利徳団長(左)と川村博富副団長(右)、女性消防団員の渡邊美幸さん(下)。「自分の町は自分で守る」という消防団精神のもと、地域の安全や防災に日夜取り組んでいる



バレーボールチーム「福岡春日シーキャッツ」のゼネラルマネージャーを務める福原秀伸さん(左)、選手として活躍する岸川聖奈さん(右)。福原さんは、「福岡初の女性V.LEAGUEチームを誕生させ、スポーツを通じて福岡県を元気にしていきたい」と意気込みを語った



春日市商工会副会長の井口謙氏さん。畳店のほか、FVM(フオカベンチャーマーケット)など県の創業支援施策を活用し、さまざまな事業を手掛ける



大学4年生の石川賢人さん。小・中学時代のコミュニティ・スクールの経験から、現在もボランティアなどの地域貢献に積極的に参加している



春日市社会福祉協議会の斉田美佐子さん。自治会と連携し、子どもから高齢者まで安心して暮らせる町づくりに取り組んでいる。地域の支え合い活動などを実施



春日市自治会連合会会長の秋枝恵美さん。連合会では、市内35自治会の相互連携を目的に、各自治会間における情報の共有化や事業の共同実施などに取り組んでいる

対談

地域で頑張る皆さん



2018年5月、ワールドカップ ロシアグランプリ大会で戦う高嶋選手(写真右)

女子サーブル日本ランキング1位(2019年1月28日現在)

たかしまりさ
高嶋理紗 選手

女子サーブル日本ランキング6位(2019年1月28日現在)

むかえあやか
向江彩伽 選手

東京オリンピックで、福岡とフェンシングを輝かせたい!

福岡県の「タレント発掘事業」で才能を見いだし
東京オリンピックの舞台を目指す

れ日本代表へと成長した2人の剣士(フェンサー)。
笑顔のチャレンジが始まります。

高嶋理紗
Risa Takashima

1999年、大牟田市生まれ。法政大学2年生。2011年全日本中学生フェンシング選手権・個人女子サーブル優勝。13年アジア・カデ選手権優勝。17年ユニバーシアード台北大会の団体女子サーブル優勝メンバー。

向江彩伽
Ayaka Mukae

1998年、筑紫野市生まれ。中央大学2年生。2012年全日本中学生フェンシング選手権・個人女子サーブル優勝。13年アジア・カデ選手権準優勝。2017年ユニバーシアード台北大会の団体女子サーブル優勝メンバー。



トップアスリートの
流儀

「スポーツ立県福岡」を目指して

福岡県では、子どもたちの才能や適性を生かして世界基準のスポーツ選手を育成する「タレント発掘事業」を、2004年から全国に先駆けて実施しています。

見いだされた才能

「タレント発掘事業」ではどんなことをされたんですか?

向江：小学4年生の時に選考会に応募して、約30人の受講生に選ばれたんです。毎週土曜にアクション福岡などの会場に集まって、いろいろなスポーツを体験しました。レスリング、バドミントン、サッカー、ラグビー…。

高嶋：スケートにフェンシング…。**向江**：初めてのスポーツが多かったのですが、みなすぐに上手くなっていました。



2018年12月、全日本フェンシング選手権大会で戦う向江選手

高嶋：楽しくやっていたんですが、誰にも負けたくない気持ちもあって、受講生たちと競い合いながらなっていました。

仲良くなっていく感じでした。自分の適性を探る時期だったと思います。

「フェンシングも初めてですよ。」

向江：はい。プログラムの一つで、日本代表の選手がメダルを取った映像を見た時に、「あ、いいな」と思っただけです。オリンピックを目指したい、というのがぼんやり見えてきました。それまではダンスをしていましたが、オリンピックにダンスは無いですよ(笑)。そんな時、「フェンシング

はどうですか」と声を掛けていただきました。体力テストでは反復横跳びや立ち幅跳びが得意で、それがフェンシングに向いていると言われたんです。

高嶋：私は小学生の時に男子に混じってソフトボールをしていました。「タレント発掘事業」でオリンピックを目指すようになりましたが、その頃、ソフトボールがオリンピック種目から外れてしまつて。フェンシングを体験して面白いと感じたこと、日本代表チームのコーチが見に来てくれた時に「フェンシングに向いている」と言っていたこと、やってみようと思ったんです。

向江：フェンシング体験の時、同じ施設にたまたま日本代表チームが合宿に来ていたんです。私たちのプログラムをコーチが見てくれて、その時に「東京にJOCエリートアカデミーというのがあるから来ないか」と誘われて、二人で一緒に東京でトライアウトを受けて、中学から東京でフェンシングに専念することが決まったんです。

「フェンシングの魅力を教えてください。」

向江：始めた頃は剣で突いたり切ったりする動きが新鮮でした。

日本代表と福岡県代表

「日本代表として戦う気持ちはいかがですか?」

向江：去年までのジュニアのカテゴリでは、自分が大きいものを背負っている実感はありませんでした。でも、オリンピックと同じレベルの自覚が必要だと思つたようになりました。

高嶋：団体戦になるとみんなで国旗を背負うんです。ポールに日の丸が上がるのを見ても感動

を感じます。

しました。台北で開催された2017年ユニバーシアード大会で、私たちが出場した団体女子サーブルは初めて世界一になったんですよ。

向江：快挙だと言われて(笑)。東京オリンピックでもメダル獲得が大きな目標です。

「地元もみんなで応援します。」

向江：フェンシングを目にする機会は少ないですが、知れば知るほど面白いスポーツです。東京オリンピックに出場できるよう努力して、少しでも良い結果を残して福岡県民の誇りと思つていただけよう頑張りたいです。

高嶋：福岡県では、「タレント発掘事業」のようにスポーツの活性化が行われているので、一人でも多くの人にスポーツに関わってもらいたいんです。私たちが福岡県の代表として世界で活躍して、いい報告ができればいいと思います。

福岡県の取り組み

福岡県スポーツ推進計画を改定しました

県では、福岡県のスポーツをより元気に、スポーツの力で福岡県をより元気にする「スポーツ立県福岡」の実現を目指し、7つの目標を掲げた福岡県スポーツ推進計画(後期計画)を2018年12月に策定しました。

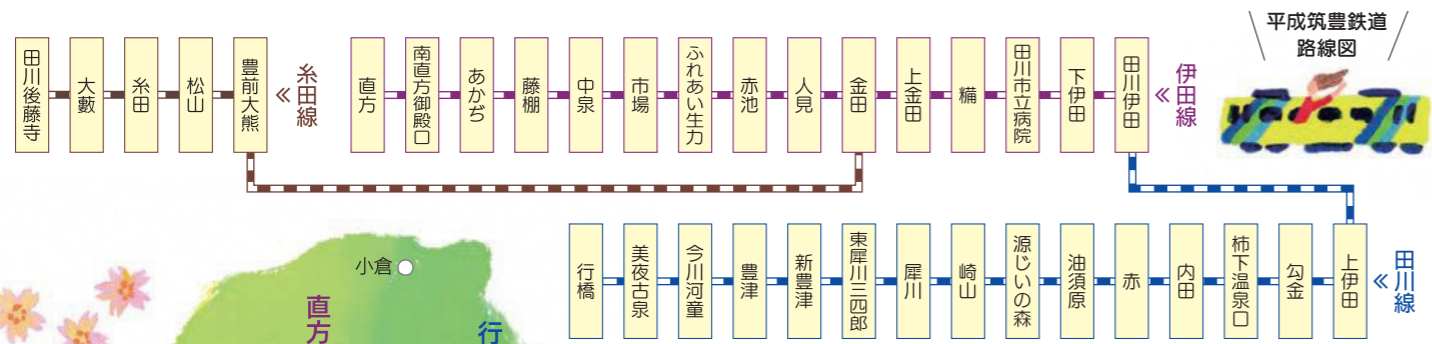
国際大会などで活躍し、県民の皆さんに夢や感動を与えるアスリートの輩出は、目標の一つです。これからも、タレント発掘事業をはじめ、さまざまな取り組みを進め、世界で活躍するアスリートを育成していきます。



計画はこちらからご覧いただけます



県スポーツ振興課
☎092-643-3407
ファクス092-643-3408



平成筑豊鉄道

**まちと里山をつなぐ鉄道
車窓に広がる日本の原風景**

平成筑豊鉄道は、直方駅から田川伊田駅までを走る「伊田線」、金田駅から田川後藤寺駅までをつなぐ「糸田線」、そして、行橋駅から田川伊田駅までを走る「田川線」の全長49.2キロの路線を運行しています。明治26(1893)年の開通時は、日本の近代化を支えた石炭を輸送する鉄道に使用されていました。平成元(1989)年に、平



田川線下りの赤駅周辺の風景。タイミングが合えば、菜の花と山桜のグラデーションが楽しめる



改修中の田川伊田駅。駅と直結した宿泊施設や観光案内所を設置し、新たな観光拠点に生まれ変わる(平成31年4月完成予定)

**ゆくり・おしり・楽しい列車
「ことごと列車」デビュー**

成筑豊鉄道がJR九州から事業を引き継いだ後も、ディーゼルエンジンを動力源とした車両が走り続けています。経営企画室長の伊藤英彦さんは「区間によっては、里山と呼ぶにふさわしい風景の中を走ります。まさに、日本の原風景を感じることが出来る景色に出会えますよ」と、路線の魅力を教えてくださいました。

「へいちく」は、主に通勤、通学の手段として地域で親しまれています。朝夕の利用者が多い時間帯には、15〜20分に置きに運行しています。そうした中、新たに、地域の魅力を楽しまることができる観光列車の運行が始まりました。

それが、沿線の農産物が主役のフランス料理を味わえるレストラン列車「ことごと列車」。「ゆくり・おしり・楽しい」をコンセプトにした「ことごと」の愛称には、「祭事、物事、人事」を乗せてゆくりゆくり走るイメージが込められています。車両をデザインしたのは、日本の観光列車ブームの火付け役、JR九州のクルーズトレイン「ななつ星



数多くの列車デザインを手掛ける水戸岡鋭治さん(左)と小川知事

途、沿線の駅舎に寄って、そのレトロな建物を楽しんだり、地元の土産をそろえたマルシェも楽しめるようになっていきます。およそ3時間の列車クルーズは、「へいちく」の沿線の魅力を満載にして走り出しました。

「ことごと列車」の内装。高級感ある内装に仕上がっており、ぜひたくな雰囲気の旅が楽しめる



列車でふくおかさんぽ

**120年の歴史を乗せて
新たに走りだす**

第4回平成筑豊鉄道

「列車でふくおかさんぽ」の第4回目は、「へいちく」の愛称で地域の方々に広く親しまれている平成筑豊鉄道です。四季折々に美しい自然が広がる車窓の風景を生かした「観光列車」もご紹介します。

3月21日運行開始!

観光列車「ことごと列車」は、車窓の景色とフレンチのコースをおよそ3時間のクルーズで、ゆくり満喫できます。

JTB九州 MICEサポートセンター
☎092-751-2102
☎9時30分〜17時30分
☎土・日曜日、祝日



鉄道写真家 福岡啓和さん



平成筑豊鉄道 経営企画室長 伊藤英彦さん

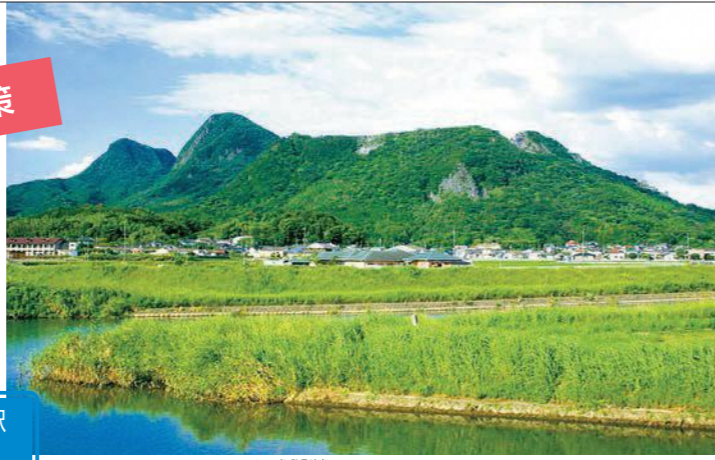
旅先案内人

横半分に切り取られた香春岳
かわら
香春岳

田川を象徴する景色の一つ「香春岳」。遠くから見える形がユニークなことで知られています。全体が純度の高い石灰石でできており、それぞれ一ノ岳、二ノ岳、三ノ岳と呼ばれています。一ノ岳は採石により、元の半分ほどの高さにまで削られています。

☎香春町香春
☎0947-32-8406 ファクス0947-32-4815
(香春町役場産業振興課)

散策



勾金駅
周辺

いづきのみやま
五木寛之の小説「青春の門」の中でも描かれている香春岳

歴史



明治43年に「筑豊石炭鉱業組合」の
会議所として建てられた

☎直方市直方692-4 ☎9時～17時(入館は16時30分まで)
☎毎週月曜日(祝日の場合は開館)、12月29日～1月3日
☎☎ファクス0949-25-2243

炭鉱の歴史を後世に伝える記念館
直方市石炭記念館

直方駅
周辺

明治初期から約100年にわたり、8億トンもの石炭を産出した筑豊炭田。日本の産業発展や近代化に大きく貢献した歴史を伝えています。館内には炭鉱の模型や採炭に使われた機械器具などを展示。屋外には石炭輸送に活躍した蒸気機関車などの実物も。

グルメ



庶民の味として広く知られる

直方駅
周辺

直方のB級グルメといえばこれ!
焼きスパ

かつて庶民の味として親しまれていた「焼きスパ」は、元々はケチャップのきいたナポリタンを焼いた、市内のとある喫茶店の独自メニュー。閉店後、幻の味となっていた焼きスパですが、市民から懐かしむ多数の声や、「焼きスパ広め隊」の活動を追い風に、直方のB級グルメとして人気が再燃しています。

☎直方市内の各飲食店
☎☎0949-28-8135 ファクス0949-28-8136
(直方市観光物産振興協会)

文化

ふれあい生力駅
周辺



カフェコーナー「としょパン」で一休み

幅広い世代の憩いの場
ふくちのち

平成29年3月に開館した、福智町図書館・歴史資料館「ふくちのち」。旧赤池町役場を改装した建物で、色々なアイデアが詰まった館内には、ゆっくり一息付けるカフェスペース「としょパン」や「ものづくりラボ」など楽しめる工夫が凝らされています。静かに集中して過ごしたい方には、旧町議会議場の「サイレントルーム」のご利用も。

☎福智町赤池970-2
☎10時～19時 ☎毎週火曜日、毎月1日
☎☎0947-28-2855 ファクス0947-28-2866

町外からの利用者も
多く見られます



「ふくちの“知”と“地”が
交わる場所」がコンセプト



読書通帳で読んだ本を記録できるサービスも。読書をもっと楽しく!

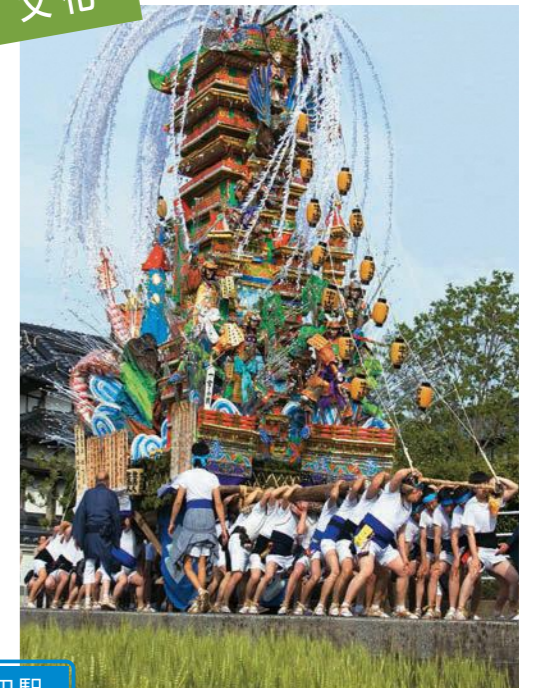
沿線自慢

平成筑豊鉄道沿線の
周辺スポット



直方市、田川市、
行橋市を結ぶ平成筑豊鉄道。
車窓から見える豊かな自然に
思いが膨らみます。

文化



「エンヤヤッサ、コラヤッサ」と
独特の掛け声がこだまする

糸田駅
周辺

威勢のいい掛け声に合わせて
糸田祇園山笠

300年以上の歴史をもつ糸田の伝統行事。豪華絢爛な飾り山笠は、高さ最大9メートル、重さ2トン以上になるものもあり、男たちが山笠を担ぎ町を練り歩く様子は壮観です。

☎糸田町
時期 毎年5月の第2土・日曜日
☎☎0947-26-4025 ファクス0947-26-1651
(糸田町役場地域振興課)

散策



春には約1000本の桜が咲き誇る

行橋駅
周辺

桜が香る春の川辺
今川河畔の桜

英彦山を源流に、市内を横断して流れる今川。河畔は市民公園として整備され、遊歩道が設けられるなど、ふるさとの川として市民に親しまれています。

☎行橋市中央1(今川河畔)
☎☎0930-25-1111 ファクス0930-25-7817(行橋市商業観光課)

鉄道写真家 福島啓和さんが教える
ナイス! レールショット



☎撮影場所: 嘉麻川橋梁(あかぢ駅 徒歩10分)

レンガ造りの橋脚や橋台は、明治時代、田川方面から北九州方面へ石炭を搬出するために造られ、今も利用されています。当時の風景を想像しながら撮るとより撮影が楽しくなります!

路線の歴史も
楽しめる!



先人たちが築いた
近代化の礎と文化が
息づくまち



おおむたし
大牟田市

おおむた「大蛇山」まつり
江戸時代に起源を持つ祭礼行事「大蛇山」。大蛇を模した長さ10mもの山車が火煙を吐きながら街を練り歩く。開催は7月下旬



大牟田市動物園

動物の幸せを願う独自の取り組みで、全国から注目を集める。運動不足の解消も考えた「ライオンの肉さがし」は、迫力ある姿を見ることができる人気イベント

大牟田市市民活動等多目的交流施設 えるる

子どもから高齢者まで、誰もが集い、交流し、学べる施設。子育て世代の交流の場である「つどいの広場」では子育て講座、お話し会、リズム遊びなどを実施



カルタックスおおむた

日本のかかるた発祥の地を記念して誕生。全国で唯一のかるたに特化した資料館で、世界中の珍しいかるたやトランプを展示する。図書館も併設



三井港倶楽部

明治41(1908)年、三池港開港に伴い、船員の休憩所や政財界の社交場として建設。現在はレストランや結婚式場として営業



諏訪公園

22ヘクタールもの敷地を持つ総合公園。散策路や木製大型遊具がそろそろレクリエーションゾーンなどを備え、親子連れでにぎわう。初夏には艶やかな菖蒲が美しい



普光寺

823年に開山された天台宗の古寺。本尊の千手観音は秘仏で、25年に一度開帳される。樹齢450余年といわれる八重咲き梅「臥龍梅」の名所でもある

**全ての市立学校で
取り組む「ESD」**



「ESD」とは、持続可能な開発のための教育のこと。グローバルな人材育成を目的に、ESDに取り組む「ユネスコスクール」に全ての市立学校が加盟しています。

「世界遺産」「環境」「福祉」「国際理解」のテーマから、各校の特色を生かした学習を行っており、身近にあるさまざまな問題について自分たちができることを子どもたち自ら考え、行動できる力を身につけています。

福岡県の最南端に位置する大牟田市は、平成29年3月に市制100周年を迎えました。

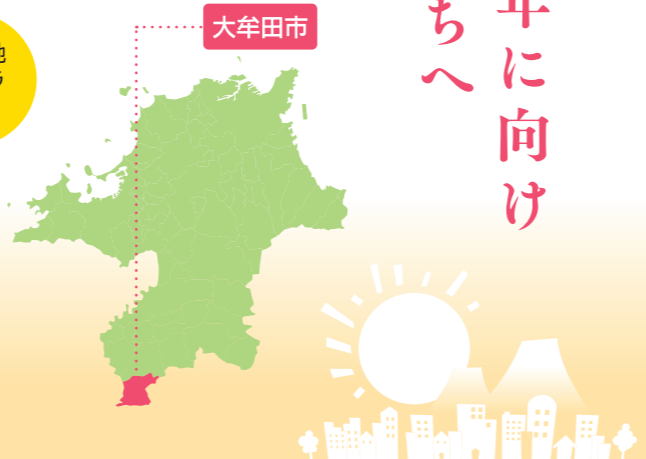
世界遺産「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」の構成資産の一つである三池炭鉱関連資産など、市民が大切に守り継承する歴史や伝統と、三池山や有明海といった豊かな自然などが共存する個性あふれるまちです。

次の100年に向け、それら地域の宝を生かしつつ、「人」を中心としたまちづくりが始まりました。「人が育ち、人ににぎわい、人を大切に迎えるまち」は、訪れる人をも優しく迎え入れてくれます。



ジャー坊

市制100周年を記念して誕生。大蛇の化身。「ゆるキャラグランプリ2018」では準グランプリを獲得した。自称、「まちの守り神」



**新たな100年に向け
「人」が輝くまちへ**

問い合わせ 大牟田市役所

大牟田市有明町2-3
☎0944-41-2222(代表)
ファクス0944-41-2552
<https://www.city.omuta.lg.jp/>



» **作刀**

平安時代から続く刀鍛冶の歴史を持ち、「天下五剣」に数えられる国宝「大典太」などの名刀が数多く生まれた。今も刀匠による作刀が行われている



» **ダゴ(お好み焼き)**

人口比に対するお好み焼き屋の数は全国屈指。地元では「ダゴ」とも呼ばれ、30cmを超えるものなど、店ごとに特徴の異なるお好み焼きが提供されている



» **FMたんと**

「地域でつくる、地域のためのラジオ局」をコンセプトに平成28年開局。年齢も職業もさまざまな地元パーソナリティーが大牟田の話題やイベントを伝える



» **炭鉱の祭典**

毎年11月3日に世界遺産に登録された宮原坑や三池港などの近代化産業遺産を一斉公開。諏訪川橋梁を渡る特別ウォークなども開催される



» **水かぶり(白かぶり)**

成人の日に三池弥剣神社(祇園宮)で行われる神事。木臼に入った水を豪快にかぶり、火災よけを祈願。放り投げた臼の迫力に歓声が沸き起こる



1. 「三池よきもの会」の皆さん。毎年10月に開催されるカルタックスおおむたでの大会に協力するなど、普及活動も行う / 2. 現在は初心者からE級からB級までのメンバーが所属。地域の公民館を利用し、週3日のペースで対戦形式の練習を続けている / 3. 昨年、永世クイーン^{くわいずん}の称号を持つ楠木早紀さん(写真右)を招いて開催された競技かるたイベントの様子

日本のかるた
発祥の地から
競技かるたの
魅力を伝える

百人一首 競技かるた練習会 三池よきもの会

日本かるたの発祥の地といわれる大牟田・三池で、平成25年に発足した競技かるたの愛好会「三池よきもの会」。現在、市内外の小学生から社会人まで31人が所属し、各地で開催される公認大会や団体戦などに出場。各自が立てた目標に向かって切磋琢磨^{せつさくたくま}しています。

会を立ち上げた福島由紀^{ふくしまゆき}さんは「競技かるたは礼儀やマナーを重んじる競技。技術の向上だけでなく、子どもたちが美しく札を払えるようになったり、練習の成果や成長を感じたりする瞬間が一番うれしい」と語ります。

今年から福岡県内の各かるた団体と合同で福岡チームを編成し強豪に挑むプロジェクトを始動。「全国競技かるた中学生選手権大会」への初出場、そして優勝を目指します。



1. 「三池港をこれからも誰もが気軽に来てもらえる場所にしたい」と理事長の入江裕二郎さん / 2. 実施するイベントの中でも評判なのが、5月のこのぼり。昨年は市民から寄付された約110匹が空を舞った / 3. 3月1回の会合で意見をメンバーで出し合って企画運営するイベントは、「炭都グルメ&レトロフェス」など、どれも個性豊か

まちの宝物
「三池港」に
人が集まる
仕掛けづくりを

NPO法人 三池港 未来のまちづくり会

三池港が世界遺産に登録された2カ月後、平成27年10月に「NPO法人三池港未来のまちづくり会」が発足しました。理事長を務めるのは、三池港近くの三川地区で生まれ育った入江裕二郎^{いりえゆうじろう}さん。

「かつてまちの中心は三池港であり、世界に開かれた三池港があったからこそ発展を遂げました。しかし現状は寂しくなるばかり。折しも三池港の世界遺産登録へ向けた取り組みが進んでいたこともあり、自分たちでも盛り上げようと、商店街の若手11人で立ち上げました」と入江さんは話します。

三川坑跡で、来場者の案内やオリジナルグッズ販売の他、年5~6回イベントを企画実施しています。そのかいあって平成30年は三川坑跡の来場者が昨年より6割増加しました。「継続が大事」と意気込む入江さんたちの活動は今後も精力的に続きます。



1. 代表の菅原知之さん。映画「みんなの学校」に感動し、大牟田で上映会を行ったのがグループを立ち上げたきっかけ / 2. 「なないろリボン」メンバーの皆さん / 3. 4月2日に開催される「世界自閉症啓発デー in おおむた」の実行委員としても積極的に活動。昨年は市庁舎をライトアップするなど自閉症への関心や理解を求めるイベントを開催した

専門分野を
越えた
つながり合いで
地域をサポート

なないろリボン

「大牟田という地域が抱える問題として、子どもたちの未来や高齢者を支えたいと考えた時、包括的な物の見方や横のつながりがこの先必要になる」という思いを抱いた菅原知之^{すがはらともよき}さんの呼びかけで、平成28年9月に発足したのが市民グループ「なないろリボン」です。

主に大牟田やその近郊で福祉、教育、医療などに従事する施設職員や一般市民など約10人が主要メンバーとして活動しています。勤務先の医療法人で企画・設立した地域交流施設「てととの広場」を使って、子育て、発達障がい、不登校などテーマを変えながら定期学習会を開催。「願いや夢を叶えられるまち」を実現するプラットフォームとして、ネットワークを生かし地域のサポートに努めています。



1. 平成26年に「グリーンバード大牟田チーム」を立ち上げた富山博史さん / 2. 週1回ゴミ拾いを行う。年間延べ400~500人が参加する大牟田チームは家族連れが多く、グリーンバード本部から「子どもに人気で賞」で全国1位に選ばれた実績を持つ / 3. 大牟田市動物園とコラボしたイベントでは、モルモット小屋のペンキ塗りを行った

「ゴミ拾いを通して
”地元愛”を育み
まちの活性化に
つながっていく

グリーンバード 大牟田チーム

子どもが生まれたのをきっかけに、大牟田の未来を考えるようになったという富山博史^{とみやまひろふみ}さん。「シャッター商店街に危機感を覚え、まちの活性化につながることをしようと思ったんです」と振り返ります。富山さんが着目したのは、「きれいな街は人の心もきれいにする」をコンセプトにした東京発のゴミ拾いボランティア団体「グリーンバード」。今や国内外で80以上のチームが活動しています。すぐに始められる手軽さと、企業やイベントとコラボしやすいことが魅力だといいます。

ゴミ拾いに参加すると家賃が安くなる「グリーンバード賃貸」や空き店舗を活用した「DIYリノベ」など不動産と飲食店を営む富山さんならではの取り組みもあり、楽しく参加してもらうことで「地元愛醸成」を図っています。



宮若市
より快適な車内空間を創造
林テンプ株式会社 福岡事業所



「高品質な内装がアジア、世界へ」と語る常務取締役の浅田良紀さん

自動車のフロアカーペットの製造で世界トップシェアを誇り、国内全ての自動車メーカーと取引がある総合内装部品メーカー。特区を活用した宮若市の福岡工場では、車の発するノイズの吸収、遮音に優れたフロアカーペットやトランク周りの部品の製造を行っています。高級車にふさわしい静粛性や快適な乗り心地、軽量化による低燃費を実現しています。北部九州に集積している顧客との距離の近さを生かし、常にコミュニケーションを取りながら、製品の質の向上を図っています。車内空間の静かで快適な環境の創造は、ドライブ時の安全性を高めることにもつながります。外から見えない部分の性能を極めるモノづくりが、世界の快適なカーライフをつくり続けています。

宮若市磯光迎原900-5 ☎0949-35-2211 ファクス0949-32-5684

中間市
産業用ロボットで省エネ・高効率化へ貢献
株式会社安川電機 中間第3工場



溶接や塗装、ピッキング(荷物の仕分け)など用途に合わせたさまざまな中・大型ロボットを生産

得意とするモーターを生かした産業用ロボットなどで北九州地域から世界へ飛躍する安川電機。特区を活用して中間市に建てられた第3工場は生産能力900台/月であり、中・大型産業用ロボットを生産しています。生産されたロボットはアジアをはじめとして70%以上が輸出されています。世界各地のさまざまな産業で省エネや高効率化に貢献しています。工場では部品加工から出荷まで一貫生産ラインを構築することで、生産効率が大きく向上しました。「原動力は北九州。動かすのは世界」。環境に配慮したモノづくりが、人と地球に優しい高効率化を支えています。



「医療の現場で調剤ができるロボットも開発しています」と語る生産技術部の内山勝裕さん

中間市上底井野319-4 ☎093-245-7820 ファクス093-245-7819

グリーンアジア
国際戦略総合特区」
に注目!

福岡県では、環境を軸とした産業の国際競争力を強化し、アジアから世界へ展開する産業拠点の形成を目指す「グリーンアジア国際戦略総合特区」を推進しており、環境性能に優れた製品の開発・生産拠点化が進んでいます。県内各地で意欲的な取り組みを進めている企業をご紹介します。



設備投資額
2900億円
突破!

新規雇用数
1500人
創出!

糸島市
安価なIoTで暮らしを便利に
株式会社 Braveridge 糸島工場



工場ではたくさんの人の手によってモノづくりが進められます

県が整備した「糸島リサーチパーク」で特区を活用した新工場を稼働するBraveridge。低コストの無線通信を基軸にIoT※デバイスの開発や量産、販売を手掛けています。手のひらに収まるデバイスと長距離無線やGPSを使った仕組みで、子どもや高齢者の見守り、車の盗難対策など、暮らしの安心に貢献しようとしています。最先端の仕組みを支えるのはモノづくりへの情熱。製品の開発、設計や商品化のプロセスを海外に委ねず、日本人が本来得意とする手作りの技術と思いやりを持って丁寧な自社生産。「福岡から世界へ、技術や製品を発信したい」。IoTが広がる新しい時代のモノづくりが始まっています。

地元福岡でのモノづくりを熱く語るCEO吉田剛さん



糸島市東1999-19(工場) / 福岡市西区周船寺3-27-2(本社)
☎092-834-5789(本社) ファクス092-807-7718(本社)

※IoT: Internet of Thingsの略で、さまざまな「モノ」と「インターネット」がつながる仕組みを指す

大牟田市
世界に誇るレアメタルリサイクル
三井金属鉱業株式会社 三池レアメタル工場



高純度レアメタル。電子部品用材料としてスマートフォンなどに活用される

現在、そして近未来のハイテク製品に欠かせないレアメタル。使用済み電子機器などから希少な金属を高効率に回収するのが大牟田市で稼働する三池レアメタル工場です。コンデンサーやガラスレンズのくず、メタルの切りくずなどから「溶媒抽出」などの方法で、純度99・99%以上という「高純度五酸化タンタル」をリサイクルしています。特区を活用した新工場では、さまざまなリサイクル原料が処理可能な新技術を導入。生産体制を大きく増強し、将来のさらなる需要増に対応します。近代日本の発展を支えた大牟田から、資源リサイクルのトップランナーとして次世代産業をリードしていきます。

リサイクル工程を説明する工場長の中島貴志さん(左)と大貫佳さん



大牟田市唐船2081
☎0944-57-5675
ファクス0944-56-3182



社員の家族や親戚を交え、ポスターコンクールを実施。会社では子どもたちを招いて表彰式も開催

事業内容

構造物やプラント設備などの目に見えない劣化や損傷を、最新の技術で検査・調査。事故を未然に防ぎ、「構造物のドクター」として地域社会に安全と安心を提供しています。

北九州市八幡西区
計測検査株式会社

安心の
チームワークで
職場復帰を
サポート



社内では以前から「提案箱」を設置し、小さな気付きにも対応できる職場環境をつくってきました。そのことも、相談しやすい職場の雰囲気づくりにつながっています。初めての出産で、子どもを育てながら働くことに不安があったという杉山千春さん。現場とのチームワークが重要な業務のため、子育てと仕事を両立する中で「改めて周囲の人の支えを感じた」と語ります。地域の子どもたちや障がいのある方、高齢の方も積極的に関わり、地域との連携や活性化にも力を入れています。



施設内での運動会をはじめ、多数のイベントを開催。施設利用者やその家族に限らず、スタッフや地域の人も楽しめるよう取り組んでいる

事業内容

触れ合いと生きがいのある楽しい老後の「憩いの場」を提供する、特別養護老人ホームを運営。明るく家庭的な雰囲気のもと、地域や家族との結びつきを重視した運営を行っています。

福智町
社会福祉法人 福智会

大きな
家族のように
支え合える
環境へ



以前から自然なこととして職員の子育てや介護に関する取り組みを行ってきた福智会。職場に子育て経験者が多いことから、育児の相談もしやすく理解してもらえ、安心感があります。子どもを連れての出勤も可能で、職員だけでなく入所者も喜んで迎え入れてくれるため「みんなで子育てをしているような心強さ」を感じるそうです。育児休業からの復帰後も無理なく働ける環境は、仕事に対するモチベーションにもつながっています。



社内ウェブを通じて規定を職員に周知しており、男女問わず制度を利用できるという意識が浸透している

事業内容

「思いやり」「誠実」「信頼」の精神医療を理念に、患者を尊重した精神医療を行っています。行政と連携し精神科救急患者に対応するとともに、幅広い精神疾患や認知症を持つ患者の治療を行い、地域の精神医療に貢献しています。

福岡市南区
医療法人 緑心会 福岡保養院
〔「男性の育児参加促進企業」部門〕

男性の育休
取得推進！
夫婦で一緒に
子育て実感



福岡保養院では昭和4年の開設以来、時代に合わせた働く環境づくりをしてきました。当院で初めて男性の育児休業を取得した作業療法士の熊谷武さんは、部長からの声掛けが後押しとなったそう。「出産後すぐの貴重な時期に、育児に携われて良い経験になった」と語ります。休業中の職場の体制も仕組みづくりがしっかりなされています。男女問わず当たり前前に制度を利用できるような環境を次の世代にもつなげようという取り組みはこれからも続いていきます。



**子育て応援
ふくおか!**



詳しくは
WEBサイト
まで



福岡県子育て応援宣言
登録マーク

県では、企業・事業所のトップが従業員の仕事と子育ての両立を支援する具体的な取り組みを宣言、それを県が登録する「子育て応援宣言企業」登録制度を実施しています。子育て応援宣言企業で表彰を受けた企業の取り組みをご紹介します。



事業内容

地域の人々に密着した医療を提供する総合病院。予防・治療・健康増進と生活向上のため、保健・医療・福祉サービスの連携を重視し、患者さんが信頼でき、職員が安心して働ける病院づくりに努めています。

地域の子どもも入所可能で、職員だけでなく地域の子育て世代も支援している

みやま市
**社会医療法人 弘恵会
ヨコクラ病院**

働きやすい
職場が
安心の医療に
つながる



ヨコクラ病院では、育児休業からの復帰後も安心して働けるよう、夜勤にも対応した院内託児所を設置しています。育児休業から復帰し託児所を利用している小柳八千代さんは「子どもに何かあっても、すぐに様子を見に行ける」と話します。勤務面でも、夜勤免除や短時間勤務、雇用形態の転換などが積極的に行われており、制度利用者も多く、互いに協力し合う意識が院内で浸透しています。



事業内容

「よい医療は、よい経営から」をコンセプトに、医療機関が効率的で質の高い医療を実現するパートナーとして、コンサルティングをベースに、医療経営のトータルサポートを行っています。

子どもたちを招き、職場体験を実施。家族の絆をさらに深めることにつながっている

福岡市中央区
総合メディカル株式会社

全ての社員が
働きやすい
基盤づくりを



「人材が会社の根本である」という理念のもと、子育てや介護などさまざまな事情を抱える社員の多様な働き方を尊重しています。中途入社し、第二子の出産を機に育児休業を取得した梶原由美さん。新しい職場環境での育児申請で不安もありましたが、周囲は温かく、最初に「おめでとう」の言葉をもらえたことがとても嬉しかったそう。テレワーク（在宅ワーク）なども導入し、男女の区別なく働きやすい基盤づくりが進んでいます。

3月

- 平成筑豊鉄道観光列車「ここと列車」の運行開始

2月

- 「福岡県青少年健全育成条例」を改正、「裸の画像等を青少年に要求する行為」に罰則を適用
- 福岡空港民間委託の運営会社、福岡国際空港(株)に対し県が出資、役員を派遣
- 「福岡県における性暴力を根絶し、性被害から県民等を守るための条例」の制定 ※関連記事30ページ

1月

- 「宗像児童相談所」新庁舎の供用を開始
- 保育士就業マッチングサイト「ほいく福岡」を開設
- 県産みかんを初めてタイに輸出

12月

- 主要地方道八女香春線「合瀬耳納トンネル」が開通

11月

- 「九州・山口結婚・子育て応援企業フォーラム」を開催
- 「KOUGEI EXPO」を30年ぶりに福岡県で開催
- 5周年を迎えた「九州芸文館」の来場者数が50万人突破
- 県初のアンテナレストラン「福扇華」をオープン ※関連記事3ページ
- ルーマニア柔道連盟が2020年東京オリンピック競技大会の事前キャンプ地を古賀市、福津市に決定

10月

- 「在福岡タイ王国総領事館」が開設
- 県産柿を初めて米国に輸出
- 「ふくおか県障がい児者美術展」の開催地を増やして実施
- グリーンアジア国際戦略総合特区の設備投資が2000億円突破 ※関連記事22ページ
- 「九州・山口結婚・子育て応援企業フォーラム」を開催
- 「KOUGEI EXPO」を30年ぶりに福岡県で開催
- 5周年を迎えた「九州芸文館」の来場者数が50万人突破
- 県初のアンテナレストラン「福扇華」をオープン ※関連記事3ページ
- ルーマニア柔道連盟が2020年東京オリンピック競技大会の事前キャンプ地を古賀市、福津市に決定

9月

- 県内の事業所が働き方を見直す「ふくおか・よかばい・かえるばいキャンペーン」を開始
- 「福岡県若者自立相談窓口」を開設

8月

- 「ふくおか健康づくり県民会議設立総会」を開催
- 「味坂スマートインターチェンジ(仮称)」が国の新規事業化箇所決定
- ドイツ車いすスポーツ連盟が2020年東京パラリンピック競技大会の事前キャンプ地を田川市に決定
- 県産梨を初めてベトナムに輸出

7月

- ラグビーワールドカップ2019™日本大会に向けた九州合同プロモーションをフランスで実施
- 平成30年7月豪雨の発生、応急対応と被災地の復旧に全力で取り組む
- 南アフリカ共和国が2020年東京パラリンピック競技大会の事前キャンプ地を飯塚市に決定
- カザフスタン共和国が2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の事前キャンプ地を久留米市に決定

6月

- 「久留米アリーナ」オープン
- 北九州一沖縄定期貨物便が就航
- 小中学校や県有施設などのブロック塀の緊急点検を実施
- 「ベトナム・ハノイ市友好提携10周年記念訪問団」を派遣
- 飯塚市と田川市が県内で初めて共生社会ホストタウンに登録

5月

- 「福岡県事業継承支援ネットワーク」を設立
- 「障がいのある人への合理的配慮ガイドブック」を作成
- 九州地域戦略会議で「九州ロゴマーク」を発表
- 飯塚市と田川市が県内で初めて共生社会ホストタウンに登録

4月

- 「災害時多言語支援センター」の設置・運営に係る協定」を締結
- 「福岡高等技術専門学校」新校舎での訓練を開始
- 「福岡県防災ハンドブック」を発行



「合瀬耳納トンネル」が開通



県産みかんを初めてタイに輸出



ルーマニア柔道連盟が2020年東京オリンピックの事前キャンプ地を古賀市、福津市に決定



「ふくおか県障がい児者美術展」の開催



皇太子同妃両殿下が被災地を御訪問



平成30年7月豪雨の発生



ラグビーワールドカップ2019™日本大会に向けた九州合同プロモーションをフランスで実施



「九州ロゴマーク」を発表



11月 「福扇華」オープン

11月21日、東京都に本県の魅力を発信するアンテナレストラン「福扇華」がオープンしました。四季折々の県産食材を使った料理を堪能できる他、食器には小石原焼や上野焼、内装には県産木材を使用し、装飾には博多織の額装や大川組子などの伝統工芸品を使って「福岡の匠の技」を体感していただけるよう工夫をしています。



11月 30年ぶりに「KOUGEI EXPO」を開催

11月1日から4日にかけて、「KOUGEI EXPO (第35回伝統的工芸品月間国民会議全国大会福岡大会)」を開催しました。博多織伝来から777年、久留米耕考案者の井上伝没後150年という、県内の伝統的工芸品産地にとって節目の年に、本県から国内外へ日本の伝統文化や工芸品の魅力を広く発信しました。



10月 「在福岡タイ王国総領事館」が開設

10月1日、県議会をはじめ関係者の皆さんとともに積み重ねてきた努力が実を結び、在福岡タイ王国総領事館が開設されました。総領事館の開設を記念した「タイフェスティバル」では、タイ舞踊のステージ、タイ料理や雑貨の販売などが行われました。今後も友好提携を締結しているバンコク都との交流を中心にタイとの交流を進めていきます。



6月 「久留米アリーナ」オープン

6月2日、久留米アリーナがオープンしました。内装には県産木材を活用し、メインアリーナの外観は久留米織の織目を表現しています。県南地域の新たなスポーツ振興の拠点として、多くの方がスポーツを楽しみ、県民の皆さんの競技力の向上、健康づくり、スポーツを通じた交流の拡大に繋がることを期待しています。

調査特別委員会

調査特別委員会は、特定の案件を調査するため、必要に応じて設置されます。本県議会では、現在6つの調査特別委員会が設置されています。今回は次の4つの委員会を紹介します。

生涯健康安心社会調査特別委員会

【委員会の開催状況】

平成30年11月28日に開催した委員会で、「介護人材の確保・定着に向けた取り組みについて」、「ふくおか健康づくり県民運動について」を議題として質疑を行いました。

【視察・調査の状況】

平成30年8月29日から30日にかけて、静岡県庁（静岡県）、武豊町役場、常滑市役所（以上愛知県）を視察しました。その他、当委員会の案件に係る視察・調査を随時行っています。



静岡県庁（静岡県）を視察（平成30年8月29日）

住・ひと・しごと創生調査特別委員会

【委員会の開催状況】

1月21日に開催した委員会では、「求人・求職の現状と課題について」、「入管法改正による労働環境への影響について」、「地域の特性を活かした「しごと」の場の創出について」を議題として質疑を行いました。

【視察・調査の状況】

平成30年7月30日から31日にかけて、株式会社クロスエイジ（春日市）、株式会社タカギ、ワタリセ自然農場（以上北九州市）を視察しました。その他、当委員会の案件に係る視察・調査を随時行っています。



明治大学リバティアカデミー（東京都）を視察（平成30年5月2日）

広域行政推進対策調査特別委員会

【委員会の開催状況】

1月23日に開催した委員会では、「平成三十年地方分権改革に関する提案募集について」、「ラグビーワールドカップ2019福岡開催について」、「九州農産物通商株式会社による九州連携の取組について」、「九州の統一的ロゴマークについて」を議題として質疑を行いました。

【視察・調査の状況】

平成30年10月22日から24日にかけて、神奈川県議会（神奈川県）、新国立競技場（東京都）、首都圏外郭放水路、彩の国さいたま人づくり広域連合、ハローワーク浦和・就業支援サテライト（以上埼玉県）を視察しました。その他、当委員会の案件に係る視察・調査を随時行っています。



平成筑豊鉄道株式会社（福智町）を視察（平成30年7月31日）

スポーツ振興・国際交流推進調査特別委員会

【委員会の開催状況】

1月22日に開催した委員会では、「ラグビーワールドカップ2019福岡開催について」、「キャンプ地誘致の取組について」、「在福岡外国公館等について」、「九州国立博物館の平成三十一年度の展示について」を議題として質疑を行いました。

【視察・調査の状況】

平成30年10月23日から24日にかけて、神戸市御崎公園球技場、公益財団法人兵庫県国際交流協会（以上兵庫県）、独立行政法人国際交流基金関西国際センター（大阪府）を視察しました。その他、当委員会の案件に係る視察・調査を随時行っています。



神戸市御崎公園球技場（兵庫県）を視察（平成30年10月23日）



県議会の動き

県議会の最近の取り組みについて、その一部の概要を紹介します。

「福岡県における性暴力を根絶し、 性被害から県民等を守るための条例」を制定

2月定例会において、議員提案により、「福岡県における性暴力を根絶し、性被害から県民等を守るための条例」を制定しました。本県議会では、議員提案による政策条例の制定に積極的に取り組んでおり、今回の条例制定は、「福岡県飲酒運転撲滅運動の推進に関する条例」、「福岡県薬物の濫用防止に関する条例」、「観光王国九州とともに輝く福岡県観光振興条例」、「福岡県犯罪被害者等支援条例」に続き、5つ目となり、平成31年3月1日に公布・施行されました（一部の規定については、規則で別に定める日から施行）。

条例制定の理由・背景

福岡県は、平成30年の性犯罪の認知件数が381件で全国8位、犯罪率（人口10万人当たりの認知件数）は全国2位となっており、「性犯罪の抑止」は福岡県警察の3大重点目標に挙げられるほど、極めて深刻かつ憂慮すべき事態となっています。県議会では、こうした状況にいち早く対応し、平成29年から幾度となく条例の制定について検討を重ねてきました。この条例は、性犯罪をはじめとする性暴力を根絶し、性被害から県民などを守るため、県や市町村、県民などの責務を明らかにするとともに、性暴力の根絶および被害者の支援に関する基本理念や施策などを定め、県民が安心して安全に暮らせる地域社会を形成することを目的としています。



提案理由説明（議長提案政策条例検討会議 阿部弘樹座長）

ハワイ州議会友好訪問

1月14日から18日まで5日間の日程で、井上順吾議長を団長とするハワイ州議会友好訪問団が、米国ハワイ州を訪問しました。本県議会とハワイ州議会は、昭和57年に国際友好親善促進の盟約を締結して以来、友好交流を続けており、15日にハワイ州知事や上院・下院議長を表敬訪問、16日に開催されたハワイ州議会の開会式では、訪問団が来賓として紹介されました。

この他、ハワイ福岡県人会との懇談会では、これまで豪雨災害の際に、ハワイ州の各県人会からお見舞いや義援金をいただいたことに対し井上議長が感謝の言葉を述べるとともに、「今後も、福岡県とハワイ州両地域の経済や文化の発展につながるよう交流活動を充実させていきたいと思っています。11月に福岡で開催予定の海外福岡人会世界大会には、ぜひお越しください」とあいさつしました。



駐日ベトナム特命 全権大使による表敬

1月30日、ヴー・ホン・ナム駐日ベトナム特命全権大使が県議会を訪問され、正副議長をはじめ、各会派代表ならびに福岡県ベトナム友好議員連盟役員が訪問を歓迎しました。

井上議長は、「ハノイ市と福岡県は友好提携を締結し、幅広い分野で交流を深めてまいりました。福岡県議会では福岡県ベトナム友好議員連盟を中心に両地域の交流を一層充実させてまいります」とあいさつしました。ナム大使は、「福岡県議会議員の皆さまのご尽力により、福岡県とハノイ市の間で緊密な関係を構築することができ、その関係が日本とベトナムの関係発展に貢献していると感じています。また、福岡県はベトナムの若者に魅力的な留学先として知られており、さらに多くの留学が見込まれています。引き続きご尽力を頂ければ幸いです」と述べました。



者に魅力的な留学先として知られており、さらに多くの留学が見込まれています。引き続きご尽力を頂ければ幸いです」と述べました。

全国都道府県議会 議長会定例総会

1月25日、第162回全国都道府県議会議長会定例総会が東京都で開催され、本県議会から井上順吾議長が出席しました。

本会は、地方が抱える切実な課題などについて本会独自に、また全国知事会などとともに地方6団体として政府に要請を行う他、各都道府県議会の発展のため、調査・研究などを行っています。

総会では、本会の活動に係る平成31年度予算(案)が審議され、原案のとおり決定されました。その他、「平成31年度地方財政対策等について」と題し、総務省自治財政局長の林崎理氏による講演が行われました。



暴力団追放！ 地域決起会議（福岡地区）

1月29日、春日市において、福岡地区の「暴力団追放！地域決起会議」が開催され、井上順吾議長をはじめ、多くの議員が出席しました。

井上議長は、「福岡県での暴力団壊滅に向けた機運がかつてないほど高まっていますが、一方で、暴力団によるものとみられる未解決重要事件が数多く残され、県民の安全・安心に大きな脅威となっており、県では、平成28年3月に、暴力団排除条例の改正を行うとともに、国に対しても新たな捜査手法の導入などを要望、通信傍受対象事件の拡大や共謀罪の新設など暴力団への対策強化が図られています。本県の暴力団排除に向けた取り組みと県警察による取り締まりがさらに進むことを期待しています」とあいさつしました。そして、最後には会場全体での暴力団追放シユプレヒコールを行いました。



暴力団への対策強化が図られています。本県の暴力団排除に向けた取り組みと県警察による取り締まりがさらに進むことを期待しています」とあいさつしました。そして、最後には会場全体での暴力団追放シユプレヒコールを行いました。

九州歴史資料館

企画展「きゅうおにとタイムトラベル」

「福岡の大昔の人たちは、どのような暮らしをしていたのか。また、日本の国はどのように形作られてきたのか、そんな歴史の疑問を、九州歴史資料館のマスコットキャラクター「きゅうおに」とタイムトラベルをしながら探る、毎年恒例の展覧会です。旅の行き先は縄文時代から奈良時代。小学校で学習する日本の歴史をより楽しく、分かりやすく学べます。



会期 3月19日(火)～7月15日(月・祝)

観覧時間 9時30分～16時30分(入館は16時まで)

休館日 月曜日、4月30日(火)、5月7日(火)
※ただし4月29日(月・祝)、5月6日(月・振休)、7月15日(月・祝)は開館

- 観覧料：無料
- 交通アクセス：
 - ◎西鉄天神大牟田線 三国が丘駅下車 徒歩約10分
 - ◎九州自動車道 筑紫野ICまたは大分自動車道 筑後小郡ICから車で約15分

問い合わせ | 九州歴史資料館 小郡市三沢5208-3 ☎0942-75-9575 ファクス0942-75-7834
http://www.fsg.pref.fukuoka.jp/kyureki/

福岡県立美術館

ウォルト・ディズニー・アーカイブス展 ～ミッキーマウスから続く、未来への物語～

ウォルト・ディズニーの仕事部屋の再現や映画「美女と野獣」、「パイレーツ・オブ・カリビアン」の衣装など約420点を、知られざるエピソードと共にご紹介いたします。ミッキーマウスから始まるディズニーの創造の軌跡と未来へつなげる夢の世界をお楽しみください。



©Disney

会期 4月19日(金)～6月16日(日)

観覧時間 10時～18時
5月25日(土)は20時まで開館延長(入場は閉館時間の各30分前まで)

休館日 月曜日、5月7日(火)
※ただし4月29日(月・祝)、5月6日(月・振休)は開館

■観覧料 ※()内は前売り、または20人以上の団体料金

一般	高大生	4歳～中学生	3歳以下
1500円(1300円)	1200円(1000円)	800円(700円)	無料

- 交通アクセス：
 - ◎西鉄バス「市民会館南口」下車 徒歩約2分
 - 「天神北」下車 徒歩約5分
 - ◎福岡市地下鉄空港線 天神駅下車 徒歩約10分
 - ◎西鉄天神大牟田線 福岡(天神)駅下車 徒歩約15分

問い合わせ | 福岡県立美術館 福岡市中央区天神5-2-1(須崎公園内) ☎092-715-3551 ファクス092-715-3552
http://fukuoka-kenbi.jp/

九州国立博物館

特別展「京都 大報恩寺 快慶・定慶のみほとけ」

京都では「千本釈迦堂」の名で親しまれている大報恩寺は、鎌倉時代に義空上人によって開かれた古寺です。2020年に開創800年を迎えることを記念し、秘仏本尊である釈迦如来坐像をはじめ十大弟子立像、六観音菩薩像など、大報恩寺に伝わる鎌倉彫刻の名品の数々を一挙に公開します。



会期 4月23日(火)～6月16日(日)

観覧時間 9時30分～17時
毎週金・土曜日は20時まで開館延長(入館は閉館時間の各30分前まで)

休館日 月曜日、5月7日(火)
※ただし4月29日(月・祝)、5月6日(月・振休)は開館

■観覧料 ※()内は前売り、または有料の人が20人以上の団体料金

一般	高大生	小中学生
1600円(1400円)	1000円(800円)	600円(400円)

- 交通アクセス：
 - ◎西鉄太宰府線 太宰府駅下車 徒歩約10分
 - ◎九州自動車道 太宰府ICまたは筑紫野ICから車で約20分

問い合わせ | 九州国立博物館 太宰府市石坂4-7-2 ☎ハローダイヤル050-5542-8600 ファクス092-929-3276
https://www.kyuhaku.jp/

福岡県広報のごあんない

●新聞

「福岡県からのお知らせ」

偶数月の第3日曜日の新聞にお知らせ掲載

●インターネット

福岡県ホームページ <http://www.pref.fukuoka.lg.jp/>

Twitter公式アカウント

アカウント ●名 前…福岡県庁
●ユーザー名…@Pref_Fukuoka
https://twitter.com/Pref_Fukuoka



Twitter

●テレビ番組

TVQ「飛び出せ!サークル“ふくおか研”」

毎週土曜日放送 20時54分～21時

●ラジオ番組

FM福岡「福岡県だより」

毎週月・木曜日 9時35分～9時40分

●世帯向け広報紙

「福岡県だより」

奇数月に発行

RKB「福岡県庁知らせた課」

毎週日曜日放送 16時54分～17時

ふくおかインターネットテレビ <http://webtv.pref.fukuoka.lg.jp/>

LINE@公式アカウント

アカウント ●名 前…福岡県庁
●ユーザーID…@pref_fukuoka



LINE@

広報紙
配信アプリ
「マチイロ」

グラフふくおかをスマホで!

ダウンロードは
こちらから



マチイロ



この広報紙は再生紙を使用。
印刷用の紙へリサイクル可。